

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		宇治福祉園 放課後等デイサービス事業所 みんなのき ゆう		公表日		令和8年 3月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		・10人以上児童がいる場合や、児童の状態に応じては2,3チームに分けて活動を行うことや園外を活用している。	・引き続き、児童の人数や様子に応じた活動を考えていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		・指定基準を満たした上で、児童の様子や活動状況に応じて臨機に調整している。	・引き続き、必要に応じて可能な限り職員の配置を見直し配置していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	7	・棚を設置し素材や道具の置く場所は固定している。遊ぶ中で物が散乱してしまうことがあるため、子どもと一緒に片付けを行っている。 ・情報伝達ではタブレットを使用し、文字や絵でわかりやすく提示出来るようにしている。	・扉が重いことによって飛び出しのリスク軽減にはなっているが、出入りのし辛さはある。引き続き大人がフォローをしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		・衛生面、安全面については、日々の清掃や点検（修理）や素材の入れ替え、クール末と年末の大掃除を行なっている。 ・道具の出し引きや、仕切りをしたりと子どもの遊びに応じた環境づくりを行っている。	・引き続き、子どもたちの発想や遊びを展開できるように、素材の充実や環境を整えていきたい。 ・子どもたちの遊び内容や人数に合わせて、机・椅子などの配置を変えながら安全で遊びやすい環境を造っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		・大きな遊び広場とは別に部屋があり、子どもの様子に応じて使用出来る環境を設けている。	・引き続き、子どもの様子に応じて環境を見直していく。 ・状況によっては個別の部屋を使用できない場合もあるため、あそび場に仕切りを設けるなどの工夫を行い、個別の環境を確保できるようにしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		・毎日、振り返りなどを情報共有ツールに打ち込んでおり、必要に応じてそれをもとに子どもに関わった職員が今後どうすればよくなるかの話し合いを行っている。また話し合った内容を会議で伝達すると共に、情報共有ツールに記録として残し、子どもに関わる職員がいつでも見ることが出来る状況を設け、次回以降の活動時に振り替えられるようにしている。	・毎日、情報共有ツールに目標に対しての姿や振り返りを打ち込み、必要に応じて話し合う場を設けると共に、会議やいつでも情報が見れる環境を設けて引き続き情報共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		・保護者の意向をいつでもシステムで見ることが出来る環境を設けていると共に、回覧で回すなどして全職員が把握出来るようにしている。また保護者の意向の内容に応じては職員間で話し合う場を設け、改善に務めている。	・引き続き、保護者の意向に耳を傾け、職員同士で共有し、業務改善につなげる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		月に一度部署として、また部署同士が集まり話し合う場を設け、職員の意見を言い合う場、把握する場となっている。また話した内容を業務改善につなげている。	・引き続き、職員が意見を言いやすく、把握出来る場を設け、業務改善につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	1	・引き続き第三者評価を受けたり、他事業所の第三者評価に参加した職員に情報を共有してもらったりして、課題の共有や改善を行っていく。	・法人のスケールメリットを活かし、相互に法人内でも視察などをより頻回に行うことで意見を受ける機会を作っていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		・園内外の研修に出来る限り参加している。 ・研修を受けた職員は内容を会議で報告すると共に、研修で使用した資料を回覧している。	・引き続き、可能な限り研修に参加していく。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		・子どもにかかわる職員で支援プログラムの作成を行っている。	・今後も子どもに関わる職員で支援プログラムの作成を行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		・子どもの様子を記録すると共に、クール毎の面談や保護者のお迎え時にコミュニケーションを取りながらニーズを把握している。また子どもに関わる職員間で話し合い計画の作成を行っている。	・引き続き、相談支援事業所との連携や、本人や家族との面談などを行うと共に、職員間でも話し合いながら計画の作成を行っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		・職員で話し合い計画書の作成を行っている。	・今後も子どもに関わる職員で話し合い計画書の作成を行っていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		・子どもに関わる職員が必ず毎日目を通す情報共有ツールに、計画に沿った支援内容が記載されており、それを確認し支援を行っている。また朝の会議でも共有している。	・引き続き、情報共有ツールや会議で情報を共有し、計画に沿った支援に務める。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		・標準化された複数のツールや行動観察など独自のアセスメントを使って確認している。	・引き続き、保護者から任意に提出された発達検査の結果や、新版K式発達検査などの検査項目をもとに、また日々の行動観察から情報を整理していく。 ・より良いアセスメントシートがあれば取り入れていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		・「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」のねらいや支援内容を踏まえながら、必要に応じて職員間で話し合い、子どもの支援に必要な項目を挙げ、具体的な支援内容を設定している。	・引き続き、職員間で話し合い計画書の作成を行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		・他曜日の担任からの共有事項や、前日までの活動を踏まえ担任を中心として立案を行い、会議で共有したのちに、より具体的に内容を深めている。経験していなくても活動プログラムを共有できるように、写真や動画等で残している。	・引き続き、職員間で意見交換する場を設け、活用していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		・毎回子どもが遊びを考え活動を行っている。その中で前週の遊びが継続できるような環境づくりや、日々の様子を見て、素材の入れ替えや環境を変化させ、自己選択できるような工夫をしている。	・引き続き、子どもたちの声に耳を傾けると共に、職員間で活動の内容を吟味して活動を行っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		・子どもや保護者からの声や、日頃の行動観察をもとに、活動内容や活動体系の調整を行っている。	・子どもの様子や状況に合わせて、個別活動や集団活動を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		・活動前の会議で話し合いを行うと共に、情報共有ツールを使用し、子どもに関わる職員がいつでも内容を確認出来るようにしている。	・引き続き、活動前に打ち合わせ時間を設けると共に、情報共有ツールを活用していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		・送迎等の関係で全員での打ち合わせは難しいが、活動後の振り返りを情報共有ツールに記録し、必要に応じて子どもへの関わり方を職員間で検討している。検討内容は会議でも共有し、記録として残すことで全職員がいつでも確認できる体制を整えている。	・引き続き、反省や振り返りをすると共に、職員間で共有が出来るようにしていく。 ・引き続き、情報共有ツールや朝の会議を活用して全員に共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		・記録は決められた書式があり、後から誰が見ても分かりやすいようにまとめることを心がけている。	・引き続き、記録をつけて支援の検討や改善に繋げていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		・クール毎に個別支援計画の作成を行い、保護者と面談を行っている。 ・相談支援事業所のモニタリングを参照し、定期的に課題の見直しを行っている。	・引き続き、保護者とのコミュニケーションを図り、相談支援事業所のモニタリングを参照することで、計画の振り返りや改善に繋げていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	7	・自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供は取り入れている。地域交流については年に1度の園のお祭りや公園で会った人と交流するなど可能な範囲で活動を行っている。	・引き続き、ガイドラインに沿った活動を取り入れていく。個人情報の観点から可能な範囲で地域交流を行っていく。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人が遊びを提示するのではなく、毎回子どもが遊びを考え活動を行っている。</li> <li>・日々の活動から、素材の入れ替えや環境を変化させ、自己選択できるような工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、子どもが考え生み出す形で活動を行うことで、自己決定をする力を育むことへ繋げる。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて担任や親担当が参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、担任や親担当の職員が連携に参加していく。</li> </ul>
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連携を取り、活動時の配慮を行う体制がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な場合は保護者の協力のもと関係機関と連携をとっていく。</li> </ul>
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所が直接学校に情報を提供して貰うことは、個人情報保護のため出来ないとの学校側の見解があり、保護者の協力のもと月ごとのやり取りから共有を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールに沿いながら、保護者からの協力のもと情報収集やトラブル対応を行っていく。</li> </ul>
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設されている児童発達支援事業が作成した、個別支援計画を参照している。また、やり取りを行い、情報の共有と相互理解に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在行っていることを引き続き行っていく、情報の共有と相互理解に努める。</li> </ul>
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から依頼があった場合には動ける体制が整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から依頼があった場合には対応していく。</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、zoomなども活用しながら専門機関と連携を取ると共に、研修を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、専門機関と連携を取ると共に、可能な限り研修にも参加していく。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護の観点から行っていない。</li> <li>・公園利用時や当法人のこども園の環境を使用した際に交流が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報を保護しながら、交流を持てる機会があれば行っていきたい。</li> </ul>
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人として地域の連携会議に参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携会議や協議会が開催される場合には積極的に参加していく。</li> </ul>
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動後の報告や連絡帳、メールや電話を活用し、子どもの状況や課題について共有している。</li> <li>・クール末毎に面談を行い、子どもの発達について保護者と一緒に検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、活動後の報告や連絡帳、電話やメールでのやり取り、半年に一度の個別面談を通して、共通理解を図っていく。</li> </ul>
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にひなたぼっこ(卒園児を含めた保護者交流会)を行っている。</li> <li>・クール末毎の個別面談や連絡帳のやり取りなども行っている。</li> <li>・研修などの情報を掲示し知らせている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域で行われている研修などのお知らせを掲示する。またひなたぼっこ(保護者交流会)の開催日を園だよりに掲載する。</li> <li>・半年に一度の個別面談や日々の報告、連絡帳でのやり取りなどで向上を図っていく。</li> </ul>
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園にあたって事前に説明会を行っている。</li> <li>・重要事項説明書や運営規定、支援プログラムを閲覧出来るようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、丁寧な説明を行うとともに、保護者が閲覧できる環境において、重要事項説明書、運営規程、支援プログラムを掲示する。</li> </ul>
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々子どもや保護者とコミュニケーションを取ると共に、相談支援の情報を取り入れながら作成を行っている。</li> <li>・クール末毎に面談を行い意向を確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者との、日々のコミュニケーションを大切にしていく。</li> </ul>
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クール末毎に放課後等デイサービス計画の内容を説明しながら、保護者と面談を行っている。面談後に同意のサインを貰っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、丁寧な説明を心掛けながら面談を行い、支援内容の同意を得ていく。</li> </ul>
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親担当の職員が配置されており、必要な時には繋げて対応を行う。その後、職員間での情報共有を行っている。</li> <li>・連絡帳や電話、メールなどで悩みや相談に応じている。その場で助言できない際は一度持ち帰り、職員間や親担当に相談したのち保護者に返答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の悩みに適切に応じられるよう、職員間で検討し返答や支援を行っていく。</li> </ul>

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回卒園児や在園児、またその兄弟や保護者が集まるお祭りを開催し、交流の場を設けている。</li> <li>・卒園児と在園児の保護者が交流できる機会を設け、親対応の職員を中心にサポートを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き行くと共に、必要に応じて頻度を検討しておく。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情受付の担当があり、窓口を明示している。</li> <li>・保護者の意見を会議で共有し、迅速に誰もが対応出来るようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、日頃から積極的にコミュニケーションを取りに行くと共に、保護者から意見を頂いた際には、職員間で共有し、誰もが迅速かつ適切に対応していきたい。</li> </ul>
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月園だよりを発行し、活動内容や今後の予定など周知出来るようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、ホームページやSNS、情報アプリの活用を検討し、保護者が必要な情報を分かりやすく確認できるよう、出欠連絡や情報共有の体制づくりを進めていきたい。</li> </ul>
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会議を行う際には場所にも配慮を行っている。また、個人情報が載っている物に関しては鍵付きのロッカーで保管している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている方法が最善かを模索し、必要に応じて、職員間で検討しながら個人情報保護に努める。</li> </ul>
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的アプローチを活用しながら、コミュニケーションを図っている。</li> <li>・個人に合わせたコミュニケーション方法を職員間で模索し、全体で周知して配慮を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、より良いコミュニケーション方法を模索し、配慮を行っていく。</li> </ul>
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所単体では個人情報の観点から行っていない。</li> <li>・法人全体の催しとして年1回、卒園児やその関係者を対象に年1回のお祭りを実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護を意識し、機会があれば地域に開かれた事業を行っていく。</li> </ul>
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、様々な想定避難訓練を行っている。</li> <li>・保護者が周知出来るよう、保護者のお迎え部屋にマニュアルを設置し、閲覧出来るようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の訓練の振り返りを踏まえ、マニュアルの見直しを行いながら、継続的に訓練を実施していく。</li> </ul>
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、様々な想定避難訓練を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の現状に合わせた業務継続計画（BCP）の見直しを行っていく。</li> </ul>
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園する前に、個別に聞き取りを行う機会を設けている。定期的に服薬、通院、発作の対応等保護者に聞き取りを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している取組を、今後も継続して実施していく。</li> </ul>
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本食事を提供する事はないが、保護者から情報としてアレルギーの有無を聞き取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事を提供する場合には、医師の指示書に基づいた対応を行う。</li> </ul>
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画の項目に挙げられている、安全管理に必要な訓練、確認を定期的に行い、安全が十分な中支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画をもとに定期的に研修や訓練、管理を行っていく。</li> <li>・安全計画の見直しも行っていく。</li> </ul>
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災計画等各種マニュアルは法人にて準備し、必要箇所を自由に閲覧できるように設置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が閲覧できる環境において掲示する。</li> </ul>
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議で話し合い、再発防止に務めている。内容を誰もが見られるように、データで閲覧出来るように管理している。</li> <li>・情報共有ツールを使用し、法人で起こったことを共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している取組を、今後も継続して実施していく。</li> </ul>
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修を行い、話し合いながら適切な対応に務めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、虐待防止に向けた研修に参加し、適切な対応を周知していく。</li> </ul>
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、身体拘束具を使うようなケースがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、身体拘束を行わなくて良い関わりを行う。</li> <li>・送迎(車両関係)などで安全上、身体拘束を行う場合があることは保護者に説明する。</li> </ul>	